

平成27年度 事務事業振返りシート (平成26年度 実施事業の振返り)

1. 基本情報								
事務事業コード	010701070602001	事務事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	商工観光部	担当課	霧島ジオパーク推進課	
政策名	06	共生・協働のまちづくり		グループ	霧島ジオパーク推進G	電話番号	64-0936	
施策名	02	国際・国内交流の推進		内線番号	2142			
基本事業名	02	交流のための民間組織・人材の育成、充実						
予算科目	会計	一般会計		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~)			
	款	07 商工費			根拠法令・条例等	特に無し		
	項	01 商工費						
	目	07 霧島ジオパーク推進費						
評価区分	標準評価	評価対象	1次評価	関連計画				

2. 事務事業の概要・目的・指標 <Do>

(1) 事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細を記述)

霧島ジオパーク推進連絡協議会の事業運営費として負担金を交付する。
 ※霧島ジオパーク推進連絡協議会(以下「協議会」という。):平成20年10月に、環霧島地域を組織する地域(以下「環霧島地域」という。)の美しい地質遺産を、地域住民、行政等が連携して保護・研究し、教育的活用やジオツーリズムの場として利用できる環境整備を行うことにより、地域社会の活性化に寄与することを目的として設立された。
 負担金は宮崎県都城町・高原町・小林市・えびの市、鹿児島県霧島市・曾於市の5市1町から人口割り20%、均等割り80%で算出し、毎年度協議会に対し支払っている。
 協議会の事業は、環霧島地域における自然保護に関する事業、地質学的・生態学的調査研究に関する事業、ジオパーク資産を利用した教育啓発及び観光に関する事業、地域連携や情報発信等に関する事業等で、特定の政策・施策に限られたものではない。

① 活動指標 (事務事業の活動量)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 負担金を交付した団体数	団体	1	1	1	1	1
イ						
ウ						

(2) 事務事業の目的

② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標 (左記②対象の大きさを表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (見込)	28年度 (見込)
ア 市民	市民数	数	127,475	127,283	126,773	129,360	129,679
イ							
ウ							

④ 意図 (②対象をどうしたいのか)	⑤ 成果指標 (左記④意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア ジオパークのことを知ってもらう	ジオパークの認知度	%	94	95		97	98
イ ジオパークの活動に参加してもらう	ジオパークの認知度への参加率	%	-	7.5		8.5	9.0
ウ							

(3) 上位の基本事業

⑥ 基本事業の意図 (さらにどのような成果に結びつのか)	⑦ 基本事業の成果指標 (左記⑥意図の達成度を表す指標)	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	28年度 (目標)
ア							
イ							
ウ							

3. 事務事業の環境変化・市民意見等
 (法改正や事業を取り巻く環境変化、市民や議会などからの意見等)

平成20年10月14日に鹿児島県湧水町で開催された「第3回環霧島会議」において、霧島ジオパーク推進連絡協議会を設立することが決定され、同日上記協議会を設立した。協議会発足時と比べて、ユネスコが支援する世界ジオパークネットワークへの加盟のハードルが非常に高くなってきている。環霧島地域の住民との積極的な協働を求める意見がある。

※ジオパークの活動は民間団体と協働してその目的を達成することが重要である。霧島市民の認知度向上を求める。

4. 事業費の推移		単位	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
事業費 投入量	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	3,000	0
	一般財源	千円	0	3,320	2,344	4,096	7,096
	事業費	千円	0	3,320	2,344	7,096	7,096

5. 平成26年度の実績及び成果

(1) 平成26年度の実績(取組) <取組内容を数値等により具体的に記載>	(2) 平成26年度の成果 <左記の実績(取組)による成果を記載>
<ul style="list-style-type: none"> 啓発事業 新緑の池めぐりツアーを開催(100名) 火山・防災セミナーを霧島市にて開催(70名) PR事業 パンフレット等の増刷、ガイドブックの製作、環境省外国人向け国立公園魅力発信事業連携、出前講座開講 ガイド養成 中級講座を開催(26名参加)、中級フォローアップ事業(歴史文化研修会) 国際会議参加 GGN国際会議(カナダ・ストーンハンマーGP) JGN関係 全国研修会(東京・三陸GP)、全国大会(南アルプスGP)参加、九州GPネットワーク会議(島原半島GP)開催、阿蘇GP世界申請審査視察、日本GP再審査 霧島大会関係 全国大会誘致プレゼン、検討会・準備委員会の開催 	<p>平成26年度では、4年に一度の日本ジオパーク再審査が実施され、これまでの活動が高く評価され、再認定が決まった。対内向けPRとしては、ジオツアーやセミナー等を開催し、多くの市民に参加していただいた。また公式ガイドブックも完成し、環霧島地域に広く配布し、霧島GPのPRができた。さらに対外向けPRとして、国際会議での紹介プレゼンや海外GP関係者との交流を行ない、またJGN会議においてもポスターセッションや分科会等に参加し、霧島GPのPRができた。</p> <p>全国大会については、平成27年度JGN霧島大会の誘致が決まり、民間を含めた検討会や準備委員会での会議を重ね、本格的に始動する実行委員会へと繋いだ。また霧島市・小林市において一般向けの出前講座を開講し、ジオパークのPRのみならず霧島大会開催の気運を高めた。ガイド養成講座では、中級試験をくりぬけた20名の中級ジオガイドが新たに誕生した。</p>

事務事業コード	0107010706020201	事務事業名	霧島ジオパーク推進事業	担当部	商工観光部
				担当課	霧島ジオパーク推進課

6. 振り返り <SEE>		理由
A 目的妥当性	① この事務事業の目的は、基本事業の意図に結びついていますか？ <input type="checkbox"/> 結びついている <input checked="" type="checkbox"/> 間接的に結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない	当該事務事業の目的は、観光・防災・教育等複数多岐に渡るため、基本事業の意図には直結しないが、間接的に結びついている。
	② ・この事業をなぜ市が行わなければならないのですか？ ・税金を投入して達成する目的ですか？ <input type="checkbox"/> 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す必要がある	現在は、環霧島地域を構成する5市1町の負担金等のみで協議会が運営されているが、今後は民間資金等も活用する必要がある。
B 有効性	③ 成果が向上する余地(可能性)はありませんか？ <input type="checkbox"/> 向上する余地はかなりある <input checked="" type="checkbox"/> 向上する余地はある程度ある <input type="checkbox"/> 向上する余地はほとんどない	協議会の事務・事業の見直しや改善等により、向上の余地はあるが、本事業は霧島市の負担金支払い事務であるため、当該事業をもって成果向上余地はない。
	④ 廃止・休止の影響はありませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がほとんどない	広域行政であるため、単独自治体だけ廃止・休止は不可能である。
	⑤ 類似の目的(対象・意図)又は形態(イベントや啓発等)を持つ他の事務事業はありませんか？(市以外の主体が実施するものを含む。) <input checked="" type="checkbox"/> 類似の事業はない <input type="checkbox"/> 類似の事業はあるが、統合又は連携できない <input type="checkbox"/> 類似の事業があり、統合又は連携できる	類似事業がある場合の事務事業名等 環霧島で取り組むジオパーク事業であり、他に類似する事業は無い。
C 効率性	⑥ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、事業費を削減できませんか？ ・補助金など、交付先に働きかけて、市の負担を削減できませんか？ <input type="checkbox"/> 削減できない <input checked="" type="checkbox"/> 削減できる	民間資金の活用、宮崎県・鹿児島県から負担金や補助金を受けること等により、全体として市負担分を削減することは可能であるが、組織の見直しから行う必要があり、早急には難しい。
	⑦ ・事務事業の手段(やり方)を工夫することで、人件費(延べ業務時間)を削減できませんか？ ・職員以外の対応や委託により人件費を削減できませんか？ <input checked="" type="checkbox"/> 削減できない <input type="checkbox"/> 削減できる	当該事業は負担金の支払い事務であるため、業務時間削減はこれ以上不可能である。
D 公平性	⑧ 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていませんか？ また、受益者負担の公平性が確保されていますか？ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	負担金を執行する協議会では、環霧島地域の地域振興を目的として広く事業を推進しており、公平・公正である。

7. 1次評価結果 <PLAN> (組織決定)		【参考】前年度の改革改善の方向性 <>						
(1) 事務事業の改革改善の方向性	継続	やり方改善	コスト拡充	コスト縮小	連携	統合	休止	廃止
	(2) 平成27年度の改革改善の内容(取り組むべき課題)	○						
(3) 平成28年度の方針・取組目標	平成27年10月に第6回日本ジオパーク全国大会霧島大会を開催する。1000人規模の大会であり、そのための事務量が増加している。また、世界ジオパーク推薦申請時や日本ジオパーク再認定時に指摘された課題の解決を図って行く事業も平行して実施する必要がある。27年4月から1名増員され、26年3月の課員数5に戻ったとはいえ、業務量は増加している。このような状況の中ではあるが、特に全国大会準備においては協議会会員をはじめとした民間団体とともに事業を推進することにより、事務局への負担集中を解消できるような方策を進める。							
	全国大会で培った民間との協働体制を進め、霧島ジオパーク推進連絡協議会が主体となったジオパークの管理運営をめざしていく。また、協議会の総意により世界ジオパーク認定申請を行うこととなるが、申請書作成、プレゼンテーション、現地審査等の直接的な事務事業はもとより、指摘課題の解決に向けて27年度から準備を進める必要がある。							

8. 2次評価結果 (担当部長評価)	
(1) 事務事業の改革改善方向性	継続 <input type="checkbox"/> やり方改善 <input type="checkbox"/> コスト拡充 <input type="checkbox"/> コスト縮小 <input type="checkbox"/> 連携 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/>
(2) 総評	

